

板橋町會議簿 四万源吉

現内閣、決算の難努力にて、今日ソノ興宣ニテ中村氏ソニ久村行動ニテ、彦ラレト言フコトハ甚矣。了解ニ若シム前判中村氏ヲ有利ニナウタク、糾解ノビラハ利シテ莫レト言フコトアリ。利シテ今既成業ニ至、割イテ見ルト全般反対ヲ初會ヒテ察放シ、ソレテ梗概ヲ検來ニテ貴ヒテクタ、ソレテ貴ヒテクタ自詮ヒテイ此又昨般御會際茶碗ヲ盜ニテ難癖付ケタル斯ル不都合ニシテ、彦ラレタアル中村氏ハ保護ミテ之罪ヲ犯セル者ナキ護モ職業ニアル都自ミ此解決方法苟シテ貴ヒテイト碑ラヌ、ラアル。

（以上）

社長 藤原文部長 近田秀雄

三種者名ニテ藤氏、水席業者ナイシテ私處ニテ紙ナシテ朗讀ニテ見ル  
私處席スル約束ニテ未タ出席シナカツシフトハナリ。私ソヒテ説ナトスルノリ、今般先約半葉、ナトウシテ行方ナシハナラナクナワテ缺席スルシトテ致至ニミオホ。メイ貴民ト浦ヒテ會同諸君、私處志ヨリオ詫シラ貴ヒテイ、山林争議ハ何シ埋否アリヤトシ。然シテ貴民ト浦ヒテ、貴ヒテ保護モ顧問ニ持ツ身合ニロタノハ何ヘノ陰タノハ階級工、大陰テハイク、ソレニ大根ノ功ノ様ニ考カヌ時、默カテ引込ヒテキルシトカ出来ルカ、猶ハ財政諸君ハ省カ出未ルガラ商引シテ、内ニ立チ除ケテ言ハシテ引込ヒカ、ソレト会シテ  
對外的問題ニ悲嘆スルカ一奇傷有事無用ニシ今ヤ失業者百万人計ヒテイナカルオ五人弟ト人四人ヒテナイ  
國策縮政策不ア就レハ渋口内閣ハ資本家ノ支持ニアル、官吏、減俸問題テスルニテ其論ニシテ微因セス只一人名ハシテヨリ微因セスニ微ヒテ光明カラアリ敵ハ未能奇アケタ。

（以上）

補 第三二六〇號

5.1.28

昭和四年十二月廿四日

藤 副總 球

丸 山 鶴 吉

大 裕 大 里 安 達 謙 藏 欽 人  
昭 和 四 年 十 二 月 廿 四 日  
藤 王 縣 知 事 官 史

小林仲銅所、禁勸爭議ニ關スル件（第八號）

要旨 1) 其後工場主カ中村年護士ノ代理ヲ解ヒタル為メ、幸銀團員八

直接交渉ヲ完結シ工場主ヨリ多少ノ譲歩アリタル次第ニシテ引續キ交渉中

標記物傷争議ハ引續キ持久歌ノ状態ニテ特異、行動ナク  
経過シ其後工場主ト直接交渉ヲ開始スルニ至リタ  
ウ狀況左記、通リ